

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 木材利用推進・林業支援担当
 内線: 4325 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B46	森林研究試験費		一般会計	農林水産業費	林業費	林業研究費	林業事務所費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	森林法、森林・林業基本法、林業種苗法			宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	SDGsゴール	2, 15
	分野施策					051245 みどりの保全と再生	SDGsターゲット	2-2, 15-1, 15-2	
1 事業概要			5 事業説明						
森林の適切な保全や循環利用の促進を図るため、新たな造林技術の開発などの試験研究を実施する。 (1) 環境変化に対応した技術の開発 -千円 (2) 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 -千円 (3) 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 △301千円 (4) 地域の特性を生かした技術開発と指導 △ 64千円 (5) 調査研究 △796千円			(1) 事業内容 ア 環境変化に対応した技術の開発 0千円 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 413千円 ウ 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 1,472千円 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 525千円 オ 調査研究 1,903千円 (2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等) ア 環境変化に対応した技術の開発 0課題 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 1課題 ウ 省力・低コスト・高品質生産技術の開発 2課題 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 1課題 オ 調査研究 4課題 (3) 事業効果 開発された新技術、新品種が普及されることにより、本県林業の発展を支える。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人、都道府県、大学、民間企業、林業関係団体や森林所有者と共同して研究開発を実施する。また、林業関係団体、民間企業等から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。 (5) 予算対応研究所 寄居林業事務所 森林研究室 (6) 補正予算の概要 事務費の節減による減額 試験研究受託事業収入が見込みを下回ったことによる減額						
2 事業主体及び負担区分 (団体10/10、県0) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×10人=95,000千円									
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△1,161	繰入金	諸収入				△130	3,152	
現計額	4,313	950	1,570				1,793		